

きみの鳥はうたえる



この夏が、
いつまでも
続くような
気がした



函館の夏、まだ何ものでもない僕たち3人は
いつも一緒だった――

佐藤泰志の原作をもとに、若手実力派俳優と
新鋭監督が作り出した、今を生きる私たちの
ための青春映画。

きらめきに満ちた、
かけがえのないときを描く、青春映画の傑作

函館シネマアイリス開館20周年記念作品

8月25日（土）より公開

©HAKODATE CINEMA IRIS

函館ロケ地マップ



はこだてフィルムコミッショング事務局

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号

(事務局:函館市観光部観光振興課)

www.hakodate-fc.com

Tel 0138-21-3326



函館郊外の書店で働く“僕”（柄本佑）、一緒に暮らす失業中の静雄（染谷将太），“僕”的同僚である佐知子（石橋静河）の3人は、夜通し酒を飲み、踊り、笑い合う。微妙なバランスの中で成り立つ彼らの幸福な日々は、いつも終わりの予感とともにあった…。

原作 佐藤 泰志

本作『きみの鳥はうたえる』は1982年に第86回芥川賞にノミネートされた作品。佐藤氏の作品はこの作品以外に4回の芥川賞候補となったものの残念ながら受賞には至りませんでした。函館市文学館（函館市末広町22-5）には佐藤氏のコーナーが常設され、氏の足跡を知ることができます。

本作品は、氏の作品である『海炭市叙景』（10）、『そのみにて光輝く』（14）、『オーバー・フェンス』（16）に続く映画化4作目となります。

脚本・監督

三宅 唱

企画・製作・プロデュース

菅原 和博（函館シネマアイリス）

出演 柄本 佑

石橋 静河

染谷 将太

足立 智充

渡辺 真起子

萩原 聖人